

支援の方向性 検討シート

1 地域課題や活動について知る機会

取組が進む環境や要因	
<ul style="list-style-type: none"> ・地理的条件や地域資源や出来事など、住民が共通の認識を持てる要素がある。 ・課題について、自分事に感じられる分かりやすい情報発信が行われている。 ・活動の見学やボランティア体験など、課題や当事者について知ることができる機会がある。 ・担い手の募集情報が、活動に興味を持った人に分かりやすく示されている。 ・活動を広く知らせることができる機会がある。 	
市民活動推進施策	
【大阪市】 (1) 市民活動に役立つ資源情報の発掘・収集・発信 (WEBサイトの再構築及びオープンデータ化等)	【民間】
「これからの支援の方向性」の検討に向けた主な着眼点	
◆提供する情報について <ul style="list-style-type: none"> ・多様な活動主体の活動の活性化に役立つ情報 ・とりわけ、「活動主体の連携協働による地域課題の解決」に向け役立つ情報 ◆情報の活用を促進する工夫など <ul style="list-style-type: none"> ・多様な活動主体に向けた情報の活用促進 ・とりわけ、「活動主体の連携促進による地域課題の解決」に向けた情報の活用促進 【検討の軸】 <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット 活動主体（地域団体、テーマ型NPO、企業等） 支援組織（中間支援組織、地域公共人材、区役所、各局等） ・活動規模 大阪市の活動、各区域の活動、小学校下の活動、個人の活動等 ・連携協働 地域団体とテーマ型NPO、地域団体と企業、地域団体とテーマ型NPOと企業等 	
これからの支援の方向性	

支援の方向性 検討シート

2 学び成長する機会

取組が進む環境や要因	
<ul style="list-style-type: none"> ・組織内の情報共有や、組織運営、事業運営のスキルを学べる場がある。また、支援してくれる人・団体がある。 ・組織内の認識を一致させることができるスキルや、異なる団体間の意見をまとめていくスキルを学べる機会がある。また、支援してくれる人・団体がある。 ・担い手を集めるスキル、育成するスキルを学べる場がある。また、支援してくれる人・団体がある。 ・取組のスキルを持っている人と出会える場がある。また、取組のスキルを学べる場や支援してくれる人・団体がある。 ・興味を持つ人に幅広く関わってもらおうとするオープンなスタンスを持つことの重要性を知る機会がある。 ・連携協働によって活動の幅が広がる可能性や、いろいろな連携スタイルがあることを知る機会がある。 ・新たな団体に参画してもらうためのノウハウや好事例を知る機会がある。 	
市民活動推進施策	
<p>【大阪市】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域活動協議会の形成・運営支援 (2) 市民活動に関する総合相談・情報提供窓口の設置 (3) CB/SB促進への支援(講座、モデル事業サポート、普及啓発等による促進) (4) 市民活動への助成金事業の運営(企業等からの寄附活用による市民活動支援) (5) 社会的ビジネス化の促進(本市事業の見直し再構築の検討等) (6) 地域公共人材の養成及び人材バンク運営 (7) 地域公共人材派遣による市民活動支援 	<p>【民間】</p>
「これからの支援の方向性」の検討に向けた主な着眼点	
<p>◆提供するスキル・ノウハウ等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動主体の安定した組織運営、自律的な活動等につながるスキル・ノウハウ等 ・とりわけ、「活動主体の連携協働による地域課題の解決」につながるスキル・ノウハウ等 <p>◆オープンなスタンスを取り入れやすくする支援について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動主体の連携協働に向けて「オープンなスタンス」は重要だが、理論や座学だけでは伝わりにくい。 <p>【検討の軸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット 活動主体(地域団体、テーマ型NPO、企業等) 支援組織(中間支援組織、地域公共人材、区役所、各局等) ・活動規模 大阪市域の活動、各区域の活動、小学校下の活動、個人の活動等 ・連携協働 地域団体とテーマ型NPO、地域団体と企業、地域団体とテーマ型NPOと企業等 	
これからの支援の方向性	

支援の方向性 検討シート

3 つながりが生まれる環境

取組が進む環境や要因	
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民につながりがあり、コミュニケーションがとれている。 ・地域にいろいろな単位の活動者・団体が集まる場、ネットワークがあり、相談、事例の共有、スキルの共有、共感しあえる場がある。 ・関係者が集まって話し合うことができる実質的な場がある。 ・取組のスキルを持っている人と出会える場、また、取組のスキルを学べる場や支援してくれる人・団体がある。 ・地域にいろいろな単位の活動者・団体が集まる場、ネットワークがある。 	
市民活動推進施策	
<p>【大阪市】</p> <p>(1) 各区役所における「人と人とのつながりづくり」の取組</p> <p>(2) 地域活動協議会の形成・運営支援 【再掲】</p> <p>(3) 市民活動の場の提供のあり方の整理</p> <p>(4) 活動主体間の連携促進(相談窓口、業務間連携等による情報を踏まえた「交流の場」の設置等)</p> <p>(5) ICTの利活用による市民の行政参画の拡大 (シビックテックコミュニティの形成支援及び各区との連携)</p> <p>(6) 企業との連携拡大</p> <p style="padding-left: 20px;">①企業との包括連携協定(2企業)、及び、各区における企業連携促進への支援</p> <p style="padding-left: 20px;">②企業とのクリック募金等(6企業)による企業連携)</p> <p>(7) 社会的ビジネス化の促進(本市事業の見直し再構築の検討等) 【再掲】</p>	<p>【民間】</p>
「これからの支援の方向性」の検討に向けた主な着眼点	
<p>◆場やネットワークの把握</p> <p>◆場やネットワークづくりを仕掛ける手法等</p> <p>【検討の軸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット 活動主体(地域団体、テーマ型NPO、企業等) 支援組織(中間支援組織、地域公共人材、区役所、各局等) ・活動規模 大阪市域の活動、各区域の活動、小学校下の活動、個人の活動等 ・連携協働 地域団体とテーマ型NPO、地域団体と企業、地域団体とテーマ型NPOと企業等 	
これからの支援の方向性	

支援の方向性 検討シート

4 活動状況に応じて適切な地域資源をつなぎあわせる機能

取組が進む環境や要因	
<ul style="list-style-type: none"> ・活動の仲間を集めようとした時、活動に興味を持った時に、アドバイスやコーディネートをする人・機関がある。 ・地域の担い手(人・団体)の存在や集まる場、アプローチの方法など、地域のことを良く知り、担い手を集めてつなぐことができるコーディネート機能がある。 ・地域資源の存在を知り、必要に応じてコーディネートできる機能がある。 ・地域に多様な主体の活動を調整・コーディネートする機能がある。 	
市民活動推進施策	
<p>【大阪市】</p> <p>(1) 地域活動協議会の形成・運営支援【再掲】</p> <p>(2) 市民活動に関する総合相談・情報提供窓口の設置【再掲】</p> <p>(3) 地域公共人材派遣による市民活動支援【再掲】</p>	<p>【民間】</p>
「これからの支援の方向性」の検討に向けた主な着眼点	
<p>◆コーディネート機能に求められる役割、知識、スキル等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報を必要とする人・団体に届けるために求められる役割、知識、スキル等 ・とりわけ、「活動主体の連携協働」をコーディネートするために求められる役割、知識、スキル等 <p>【検討の軸】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ターゲット 活動主体（地域団体、テーマ型NPO、企業等） 支援組織（中間支援組織、地域公共人材、区役所、各局等） ・活動規模 大阪市域の活動、各区域の活動、小学校下の活動、個人の活動等 ・連携協働 地域団体とテーマ型NPO、地域団体と企業、地域団体とテーマ型NPOと企業等 	
これからの支援の方向性	

支援の方向性 検討シート

5 活動が認知、顕彰される環境

取組が進む環境や要因

- ・活動が他者に認められるなど、成果が感じられる場がある。
- ・活動が評価される場がある。

市民活動推進施策

【大阪市】

- (1) 市民活動への助成金事業の運営(企業等からの寄附活用による市民活動支援)【再掲】
- (2) CSOアワード大阪市長賞(市長賞を通して、活動を認知、顕彰)
- (3) 寄付者への感謝状贈呈式(感謝状を通して、社会貢献活動を認知、顕彰)

【民間】

「これからの支援の方向性」の検討に向けた主な着眼点

◆活動の認知・顕彰の効果的な手法など

- ・とりわけ、「活動主体の連携協働による地域課題の解決」に向けた認知・顕彰の手法

【検討の軸】

- ・ターゲット 活動主体(地域団体、テーマ型NPO、企業等)
支援組織(中間支援組織、地域公共人材、区役所、各局等)
- ・活動規模 大阪市域の活動、各区域の活動、小学校下の活動、個人の活動等
- ・連携協働 地域団体とテーマ型NPO、地域団体と企業、地域団体とテーマ型NPOと企業等

これからの支援の方向性

支援の方向性 検討シート

6 その他

取組が進む環境や要因

市民活動推進施策

【大阪市】

【民間】

これからの支援の方向性